



特別名勝「松島」の歴史と景観との調和



1 野蒜水門 2 野蒜海岸初日の出イベント

宮城県 | 東松島市

なる せ がわ か こう ぶ

3

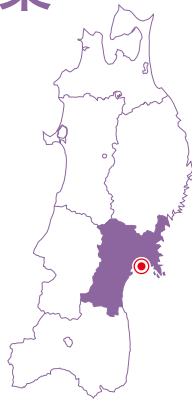
## 鳴瀬川河口部 復旧・復興事業

ふっ きゅう ふっ こう じ ぎょう

被災した東松島市野蒜地区のため、  
鳴瀬川河口部の復旧・復興事業を  
進めました。

河口部の復旧は完了しています。

鳴瀬川周辺は、歴史的な土木構造物が多く、  
歴史マニアにもオススメです。



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 調査課

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80

tel.0225-95-0194

E-mail thr-kitakamigawa01@mlit.go.jp

http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/

施設までのアクセス

〈車〉三陸自動車道「鳴瀬奥松島IC」から約15分

### 体験者の声



- 東日本大震災から復旧した鳴瀬川の様子が見られて良かった。
- 地域の歴史と治水の話を知ることができ、おもしろいと思った。

### 体験内容

のびる  
野蒜水門

家族 個人 団体 学習



野蒜水門は、高潮や洪水時の浸水被害を防ぐために平成15年に設置され、平成23年3月11日東日本大震災によって被災を受けました。大きな損壊はありませんでしたが、現在の野蒜水門は、堤防の高上げに合わせて改築した新しい水門です。

歴史や文化を踏襲するため外壁を煉瓦張りにするなど景観へも配慮しています。

歴史的構造物(選奨土木遺産)

家族 個人 団体 学習

野蒜築港は、明治政府による東北開発の最重要拠点として、現在の宮城県東松島市から石巻市一帯に計画され、国家事業として行われた日本最初(明治11年～)の近代洋式港湾建設事業です。度重なる被災により計画は中止されましたが、完成していれば、東北の歴史を変えていたであろう「幻の貿易港」と呼ばれています。元禄潜穴(トンネル)と明治潜穴は、かつて存在していた「品井沼」を干拓するために掘られました。先人たちの干拓にかけた情熱と歴史を伝える歴史的構造物です。品井沼駅として名称は今も残っています。



東松島市震災復興伝承館

家族 個人 団体 学習



平成28年10月、東日本大震災発生時までJR仙石線野蒜駅および東松島市奥松島観光情報センターとして利用していた建物が、「東松島市震災復興伝承館」としてリニューアルオープンしました。館内には被災前後の写真パネルの展示や大型スクリーンがあり、震災当時の記録映像を視聴することもできますので、防災・減災の取り組みを学ぶ場として、ぜひご活用ください。

営業・開館時間	9:00～17:00
定休日	毎月第3水曜日・年末年始
料金	入館無料
所要時間	40分～1時間
予約	10名以上の団体の場合、要連絡/TEL
収容人数	1名～40名まで (設備後継継数40席、立見であれば80名まで)、バス台まで
TEL	0225-86-2985